

伝笑鳩~~~~第7号~~~~

1990 今月の一 笑 同巢会とかけて、ジョークの会と解く。

4 月 その心は

「笑(葉)っていいとも(友)」 堀江 勲

~~~~~  
今月も先月に引き続き皆様のお便りから入りたい思います。

一番手は小平市/児玉美子さんからのお便りです。一月に頂いていましたが、遅くなりましたので、全文を紹介し、ご容赦頂くこととします。

「何時も楽しいお便り とても うれしく感謝しています。私は58才の主婦です。60才の主人と従業員 5人と未だ現役で頑張っています。楽しいお便りを休み時間にみんなに読んで聞かせます。どっと 爆笑 たのしい ひととき です。私には まだ ジョークが 浮かびません が 皆さんの洒落やジョークを教えて頂くだけで、歳を忘れ何やら若い皆さんのお仲間に入れていただいた様な とても うれしい気分です。会報お手数おかけいたしますが よろしく お願い いたします。」

児玉さんは未だ例会には来て頂いてませんが、是非機会がありましたら遊びに来ていただきたいですね。皆さんも気付いたかもしれませんが文中『、』がありません。そのかわり文字が離れていまして、逆に新鮮です。これもひとつのユーモアセンスですね。このところ会報が出ずジョークを笑介することが減っていましたのでご笑捨ねがいます。

もうひとつのお便りは、昨年例会に参加して故山下塾鳥に会って人生感が変わったという川口市/千葉和枝さんからです。

「拝啓 その後、ご無沙汰申し上げております。山下塾長の昇天は、あまりに早く、本当に一期一会のお目もじとなりましたが、私にとりましては鮮烈な印象を残していけませんでした。その後、一日一回は、周囲が思わず笑う様なジョークを心がけております。生粋のテンション族だった私の人生にも転機を与えて下さった山下氏に感謝しております。会合に出席したいと思っておりますが、年度末・年度初めで、その上、株式市場の暴落もあってなかなか出掛けられずしております。しかし“ジョークは技術、ユーモアは人格”と教わった後者に向けて密かな努力を始めています。夢かもしれませんが、何年か先に“ユーモアクラブを作りたいな”と夢をたくましくしております。皆様によるしくお伝え下さいませ。何かの足しにと切手を同封致しました。 かしこ」

夢に終わることなく、是非共ユーモアクラブを実現させたいですね。千葉さんのお便りにもあります“ジョークは技術、ユーモアは人格”という山下塾鳥の解説は分かり易い上にひとつの指針となる言葉でした。

以上、お便りと共に切手を多数カンパして頂きましたお二人の手紙を紹介しました。

皆様も是非お便りと共に切手を送って下さい。優先的に掲載します。

---

今月の一 笑 は、3月の例会に初参加されました堀江さんからのナゾ解きであります。堀江さんは同僚の一番ヶ瀬さんから「神田の同巢会のジョークの会に参加して、とても楽しかった。心とむものがあり大いに笑いましたよ」という話を聞いて、一緒に参加したいと来られました。嬉しいですね。こうやって、ゆっくり輪が広がって和ができるのがいいですね。ワーいいな。いいでしょ。皆さんも参加して下さい。

さて、皆さんからの作品笑介です。お待たせしました、というものの暫く伝笑鳩を休んでいましたので、やや作品の投稿が少ない状況にあります。投稿拒否も登校拒否もあまり宜しくありません。ご協力をお願いします。

というわけで再び堀江さんの作品を幾つか。

・ジョークの会とかけて薬局と解く。その心は「クスリがいっぱい」

(クスリと笑う——という次第)

堀江さんは日曜日の NHKラジオ第1, 11:00 からの文芸選評の折込都々逸(七七七五)や川柳(五七五)への投稿をしておられるとのこと。放送されるでしょうか。

・折込都々逸 ハ 鼻はクシュクシュ ・川柳 お花見は新入社員の披露宴  
(4/15 選評) ナ 涙もでるワ (4/15 選評) 丹精をほめて気付いた造り花  
課題: 花博 ハ 花の季節は 課題: 花  
ク 苦しいヨ

(なかなか生けますね。やはり花ですからね)

ジョークの会の花、茨木市/小門留美子さんから花につきものの酒であります。

・友人との会話。友人「おたくの御主人、お酒つよいのね」私「ええ、主人は学生時代首席(酒席)で通したと、言ってます」

(私が好きなチャイコフキー、貴方が好きなドストエフスキー、みんなが好きなウイスキーであります)

ではお酒にちなんだ小話を私から笑介します。

・友人「お酒飲めるんだろ」私「スコッチならね」

横浜市/小川景也さんは、現在55才、少年時代は「キング」「講談倶楽部」の笑い話に投稿しておられたそうで、その時のペンネームは佐渡五郎(サードゴロ)千田五郎(センターゴロ)と洒落ていたそうです。昔から野球は盛んでした。そう言えば、東京ドームが出来てからは、雨の日は『屋球』というのものもあるようですね。

もうひとつ、ドーム物を。この頃は野球の試合はやたらと長引いてテレビ放送で最後まで放映されないことがありまして、試合終了までいかないことがあります。

・アナウンサー「残り時間が1分をきってしまいました。申し訳ございません、残念ながら、これで終了させていただきます」某解説者「ドームすいません」

では、今後とも皆様のジョーク(なんでもOK)をお待ち致しております。

---

今月の締めは、山下さんが1975年11月にソ連及び欧州を24日間旅行した際のダジャレをまとめた『サモアールわかつて』から、今話題のソ連ものです。

#### イントウリストホテル

- 「テレビはカラーじゃないね」「そのかわり冷蔵庫はカラだよ」
- 「お湯の出がわるいし、余り熱くないよ」「それじゃ、ひげも、ソレン」
- 「ソ連の石けんは落ちがよくないね」「そりゃ、アカが落ちれば大変なもの」
- 「それにしても、何のかざりもなく粗末な石けんだよね」「日本流に“節儉”だな」

摂氏17度

○案外だね、モスコウ市寒いかと思ったよ。

いまは、ソ連もテレビはカラーです。では、又。

(文責: 野本浩一)